

公益目的事業1
第10回 研究助成金贈呈者一覧

平成28年5月25日

がん薬物療法に関する革新的治療法に対する研究助成及び表彰（革新的研究）（小林がん学術賞）

	研究者氏名	所 属 機 関 名
基礎	掛谷 秀昭	京都大学大学院薬学研究科 医薬創成情報科学専攻 システムケモセラピー・制御分子学分野
	研究課題名	低酸素応答シグナルを標的とした分子標的抗がん剤開発
	受賞理由	生理活性物質のケミカルバイオロジー研究を駆使し、低酸素応答シグナルを標的とした新しい治療法の開発研究である。新規のリード化合物の開発も期待される。
臨床	古川 雄祐	自治医科大学 分子病態治療研究センター 幹細胞制御研究部
	研究課題名	中枢神経白血病に対するエピジェネティック療法の開発
	受賞理由	ヒストン脱メチル化酵素LSD1が腫瘍のドライバー因子となることを見出し、治療困難なT-ALLに対する新しい分子標的治療法として、薬剤開発から臨床応用研究に期待。

がん薬物療法に関する先駆的治療法に対する研究助成（先駆的研究）

	研究者氏名	所 属 機 関 名
基礎	畠山 鎮次	北海道大学大学院医学研究科 生化学講座医化学分野
	研究課題名	がん関連TRIMファミリータンパク質の機能制御によるがん治療薬開発への応用
	森口 尚	東北大学大学院医学系研究科 医化学分野
	研究課題名	腫瘍血管内皮細胞での酸化ストレス応答制御による転移性肺ガン抑制療法の確立
	仲矢 丈雄	自治医科大学医学部・大学院医学研究科 病理学講座人体病理学部門
	研究課題名	蛋白間相互作用阻害により正常細胞を傷害せず癌のみを選択的に抑制する新しい大腸癌薬物治療法の開発
	秋田 英万	千葉大学大学院薬学研究院 薬物学研究室
	研究課題名	細胞内動態/崩壊制御能を搭載した超ナノ自己集合薬の創成とがん治療への展開
	西川 博嘉	国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫TR分野
	研究課題名	がん組織に浸潤する制御性T細胞の代謝機構を標的とした治療法の開発
	今村 裕	がん研究会有明病院 消化器外科 食道外科
	研究課題名	食道胃接合部腺癌おける遺伝子増幅異常を標的とした新規治療法の開発
	久保田 裕二	東京大学医科学研究所 基礎医科学部門分子シグナル制御分野
	研究課題名	発がん及び再発がんの原因となる活性化型MEK変異体を阻害する分子標的抗がん剤の開発
	早河 翼	東京大学医学部 消化器内科
	研究課題名	印環細胞型胃癌に対する分子標的治療の探索
	今野 雅允	大阪大学大学院医学系研究科 消化器癌先進化学療法開発学
研究課題名	がん薬物療法の成績向上を目指す革新的核酸医薬品の開発	
永森 收志	大阪大学大学院医学系研究科 生体システム薬理学	
研究課題名	がん細胞型アミノ酸トランスポーターを標的とした抗がん剤の開発と作用機序解析	
臨床	山田 忠明	金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍内科研究分野
	研究課題名	EGFR変異陽性肺癌の上皮間葉転換による薬剤耐性の克服に向けた新規診断・治療法開発
	山崎小百合	名古屋市立大学大学院医学研究科 免疫学
研究課題名	進行メラノーマにおける免疫チェックポイント阻害剤の有効性と樹状細胞の動態の解析	